

住民基本台帳カード 申請受付

市役所2階の「住民基本台帳カード発行コーナー」で行っている住民基本台帳カード（住基カード）の申請・交付手続きを期間限定で中央区役所の戸籍住民課窓口でも行います。

▽申請受付期間 1月5日（月）～20日（火）（土・日・祝日を除く）。

▽申請方法 交付申請書に必要事項を記入の上、窓口へ提出してください。

なお、写真付きカードを希望する場合、写真（縦3センチ×横2.5センチの無帽・正面・背景なしの申請前6カ月以内に撮影したもの）1枚が必

要です。

▽交付 申請後、交付通知書をご自宅へ送付します。届いた通知書に署名して、中央区役所へ1月23日（金）午後3時まで持参してください。

また、1月26日（月）以降、通知書の有効期限までは、市役所（北1西2）2階の「住民基本台帳カード発行コーナー」で受け取れます。

※申請者本人が運転免許証やパスポートなどを持参して申請すれば、申請当日にカードの交付を受けることができます。（保険証・敬老手帳では当日交付できません。）
（詳細）住民基本台帳カード発行コーナー

☎（211）2296

中学生の税についての作文入賞者

市と札幌市納税貯蓄組合連合会が募集した「中学生の税についての作文」の入選作品が決定し、中央区では4人が受賞しました。

札幌市納税貯蓄組合連合会長表彰

○対馬 智史さん（山鼻中1年）
「税について」

○古郡 茉由子さん（山鼻中1年）
「税について考えること」

○窪田 茉由さん（山鼻中1年）
「税について考えること」

○佐藤 百恵さん（中央中2年）
「私たちの税について」

中央区

歴史の散歩道

第93回

悲運の学びや

札幌市立中学校

短くとも確かな足跡を札幌の歴史に残した、札幌市立中学校をご紹介します。

当初の教員数はわずか五人でしたが、「一中（現在の南高）」や二中（現在の西高）に負けるな」という新設校らしい意気込みの下、熱心に生徒を指導したそうです。

この学校の特徴として、生徒を厳しく育てるための独自の教育活動が挙げられます。学校に隣接して修練道場が建てられ、精神修養のための正座や、道場での宿泊学習、毎朝の乾布摩擦などが行われたといえます。時には銭函まで炎天下の中を歩いて行き、水泳の訓練をするということもありました。

こうして、教師と生徒が丸となって、独特の質実剛健な校風をはぐくんできました。しかし、終戦から一年余りたった二十一年九月、一つの事件が学校に暗い影を落としました。

戦時中、学校には軍事教練用の木銃などが備えられており、それらは、占領軍に破棄するよう命じられていました。その一部を校庭に埋めて処分したことが、兵器の隠匿であったとがめられたのです。当

時の校長はその責任を追及され、教職員の嘆願もむなしく、教壇から追放されてしまいました。このことは、生徒にとって、生涯忘れられない出来事になりました。

その後、学校もまた苦境に立たされます。新学制が実施され、市立中学校は市立第二高等学校と改称していましたが、占領軍から新制中学校への転換を勧告され、二十四年三月、最終的に廃校することになったのです。

市立中学校はわずか八年間で終えんを迎えました。しかし、短い歴史であればこそ、数少ない同窓生は強いきずなで結ばれています。



▲ありし日の校舎（札幌市教育委員会文化資料室所蔵）